

メディカル英語 No.1

医学論文を3分で読む ― Abstract構造を知れば専門英語が読める

導入文

医学英語の長文を「単語を一つずつ追う」アプローチで読んでいる受験生は、専門用語が出てきた途端に止まってしまう。医学論文のAbstract構造（背景・目的・方法・結果・考察）を知っていると、初見の専門英語でも論旨を素早くつかめるようになる。

講義概要

医学英語の読解を「逐語訳」から「Abstract構造による論旨の先取り」へ転換する。背景（Background）・目的（Objective）・方法（Methods）・結果（Results）・考察（Conclusion）という5つの構造を高校生向けに還元し、専門語彙が分からなくても論旨を追える状態を作る。

授業目標：医学英語を「単語追い」からAbstract構造で論旨を先取りする状態へ移す。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・薬学部・生命科学系志望で、専門英語の読解に苦手意識がある生徒。英語基礎（高校英語既習）があれば対応可能。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：Abstract構造を見た瞬間に論旨の地図が描ける／専門用語が分からなくても論旨を追える／英語面接で論文の主張を3文で説明できる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：専門語が分からなくても読める体験を共有 2 概念導入：Abstract5構造を地図として体得 3 実践：実際の医学論文AbstractでStructureを特定 4 演習：論旨を先取りして設問に答える 5 応用：要約・英語面接への接続 6 まとめ：「まず構造を把握する」を最初の一手に固定

追加30分：初見医学英語の構造特定演習を行い、専門語彙が分からない場面での対処法について質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：Abstract5構造の地図／専門語推定の手順／論旨先取りの技術／要約・面接への応用

課題：医学英語のAbstract1本を読み、5構造を日本語でまとめてから設問に答える。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。